

平成28年度 会長就任・退任のご挨拶

就任のご挨拶



新会長 平松 章
(株平松組)

盛夏の候、会員の皆様方におかれましては益々、御健勝のこ

ととお慶び申し上げます。

この度、先の総代会で皆様から会長を仰せつかりました平松章です。西前会長様には、永く商工会発展の為御尽力をいただき誠に有難うございました。今後共、本会の御支援御教授をお願いいたしますと共に、御健勝にて御活躍をいただきたくお祈り申し上げます。

さて、昨今の日本経済においては中国経済の失速に伴い、世界経済は大きな混乱をきたし、

株価は続落し日銀はマイナス金利政策にと舵を切り、英国のEU離脱の国民投票等の影響による株の乱高下で日本経済の見通しも混沌としています。我が郷里淡路島も事情は違いますが、少子高齢化、大型店、コンビニ店等の出店で、淡路市の小規模事業者におきましては経営者の高齢化、後継者不足が深刻化し消費者ニーズの把握もままならぬ状態であり、若年層の島外流出等による人口減少で地域

経済を疲弊させています。昨今の経済政策の恩恵は大企業のみで、小規模企業者にとってはコスト高、人材不足等が不安材料となっております。しかしこうした中であって一昨年度は、商工会にとって悲願であった「小規模企業振興基本法」が制定され、まちの活力を取り戻す地方創生の一環として期待されます。

又この度、淡路市商工会は経済産業省から認定を受け「経営発達支援計画」を推進いたします。これは地域内小規模事業者の持続的発展のため、商工会職員が伴走型の事業者支援を行う

ものです。併せて淡路地域では、国・県・市が展開する経営支援策と相乗効果を発揮し合い、小規模事業者が地域の活力を取り戻せるように頑張りたく考えます。更に「国生みの島」淡路島が日本遺産に認定され、「伊弉諾神宮」を拠点とし地域経済を活性化できればと考えます。

我々商工会は地域社会に貢献し、商工会員の為に存在し、商工業者が元気になることにより地域の伝統行事文化を守ります。役員一同より一層頑張りますので、今後共よろしくお願ひ申しあげます。

所を閉鎖させて頂きました。世の中に存在する組織は、世間様に必要とされて居るから存在できています。その社会の要請にお応えするためには、職員全員で組織目標を共有せねばなりません。そんな事で、平成24年には淡路市商工会の経営理念として「地域社会に貢献する商工会」と価値観と行動指針として「私達は、商工会員のために存在します。」以下六項目を創らせ、3月の理事会に報告し、以降毎週の朝礼にて全員で唱和させています。

退任のご挨拶



前会長 西 啓次郎
(ムネ製菓(株))

皆さん今日は。

この度5月25日の第10回総代会にて、商工会長を退任させて頂きました。

皆様方には、永年に亘りご支

援・ご指導・ご鞭撻下さり誠に有難うございました。心から感謝申し上げます。

思い起こしますと、平成19年に津名郡五町の商工会が合併しました時に、理事総務委員長を仰せ付かり、第2期目には当時の三津会長様の下で副会長を務め、一年で会長を拝命する事になり、以来5年間と都合9年間務めさせて頂きました。合併当初は、五つの支所に数名の職員を配置したままで、職員のスキルアップを図り自己実現をさせるサービスが出来るかと、会員

様のそれぞれの商工会に対する思いの違いや、歴史の違う職員の集まりを、どう一つにまとめ、会員様に喜んで頂く商工会にするかに苦労した思い出があります。

会員の皆様方に商工会と言う組織がサービスするのではなく、人がサービスするのですから、先ず職員を皆様方のご期待にお応えできるように成長させねばなりません。そのためには、多少のご不便をお掛けしますが職員を一か所に集め成長させねばなりません。それには会員様への巡回に力を入れさせ、各支

私達を取り巻く世間の情勢は

非常に厳しくなっています。そんな中で会員の皆様方は商売をなさり雇用を支え、地域の大切な伝統行事や文化を守っています。地域が元気に成るためには、地域の商工業者が元気に成らねばなりません。それをご支援するのが商工会であると思っています。

どうか会員の皆様並びに商工会が元気であり続けますようお願い申し上げます。永年のご支援に感謝しお礼の言葉とさせて頂きます。

どうも有難うございました。